

第8回 駿河湾・伊豆海嶺地域研究集会  
— 駿河湾の環境変動 —

共 催：水産海洋学会，東海大学海洋研究所，東海大学海洋学部

日 時：2015年3月10日（木） 13：00—17：00（予定）

場 所：清水テルサ7階大会議室（静岡市清水区島崎町223）

コンビナー：植原 量行（東海大海洋）

挨拶：和田 時夫（水産海洋学会会長） 13:00-13:10

海洋研究所コアプロジェクトについて：久保田 雅久（東海大学海洋研究所長） 13:10-13:20

趣旨説明：植原 量行（東海大海洋） 13:20-13:30

話 題 駿河湾の環境変動

1 物理環境とその変動 — 座長 仁木将人（東海大学） 13:30-14:30

(1) 駿河湾内の貯熱量の時間変化…植原量行・安藤一輝・響田邦夫・久保田雅久（東海大海洋）

(2) 駿河湾における海面熱・水収支の試み…響田邦夫・塚本輝・長谷川瞬・植原量行（東海大海洋）

(3) ADCP データからみる駿河湾の流動構造とその変化…仁木将人・勝間田高明（東海大海洋）

2 化学・生物環境とその変動 — 座長 萩原直樹（東海大学） 14:40-15:40

(1) 駿河湾の海色リモートセンシング…田中昭彦・杉山 領（東海大清水教養教育センター）

(2) 駿河湾の海底湧水…成田尚史・小松大祐（東海大海洋）

(3) 駿河湾の漂流生態系—SURUME プロジェクトの成果より  
…西川淳・松浦弘行・吉川尚（東海大海洋）・宗林留美（静大院理）・大林由美子（愛媛大沿環セ）

3 観測と海洋数値モデル — 座長 植原量行（東海大学） 15:50-16:30

(1) 定線観測から見た静岡県沿岸の環境変動…高木康次（静岡県水技研）

(2) 日本近海域の現業予測モデルの開発…瀬藤聡（水産総合研究センター中央水研）

4 総合討論 座長 植原量行（東海大海洋） 16:30-17:00

話題提供：静岡市における海洋産業への働きかけ

…佐藤任教・鈴木純（静岡市経済局商工部産業振興課）

**開催趣旨：**駿河湾は湾口で 2500m に達する日本で最も深い湾であり，その北端では海岸からわずか 2km ほどで水深 500m に達するような急峻な海底地形を有している．そのため，沿岸でありながら，北太平洋の外洋で見られる黒潮や親潮などの表層水塊だけでなく，中層水や深層水などが関係する水塊が分布する．これらの水塊分布に加え，富士川・安部川・大井川・狩野川のような河川水や海底湧水などの陸水の流入によって駿河湾は非常に複雑な環境を呈している．このような駿河湾の地形的・海洋学的な特徴が，駿河湾の多種多様な生態系を支え，同時に駿河湾の水産業を支えている．本研究集会では，駿河湾におけるこれまでの海洋学的な特徴＝環境とその変動をレビューしたうえで，最新の観測や解析から明らかになった駿河湾の環境とその変動について，物理学的・化学的・生物学的に整理し，駿河湾の観測と駿河湾を含む沿岸における海洋数値モデルの構築について議論し，行政の立場からの話題も交えながら，今後の駿河湾の研究の方向性について議論する．